

公益社団法人日本技術士会中国本部主催
公益社団法人 日本技術士会 中国本部 岡山例会（ご案内）【ハイブリッド開催】
『見学会』・『第8回中国本部技術士研究・業績発表会』 ※建設系 CPD プログラム

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、下記のとおり、2024年11月30日(土)～12月1日(日)にかけて、岡山例会『見学会/中国本部技術士研究・業績発表会』を開催します。また、中国本部の意見交換会(忘年会)も兼ねていますので、ご多忙のところ恐縮に存じますが、万障お繰り合わせのうえご出席くださいますようお願い申し上げます。

1日目の見学会は、国土交通省岡山河川事務所 柏原副所長様に「百間川一の荒手」の説明を現地にていただき、その後、後樂園・岡山城を見学する予定としています。

2日目の『第8回中国本部技術士研究・業績発表会』は、津山工業高等専門学校校長 岩佐健司氏から「津山高専高度情報専門人材確保に向けた機能強化の構想:オンライン利活用による地域創成と未来展開型情報人材育成事業」と題して基調講演をいただき、8部会(機械/船舶/海洋/航空/宇宙部会、電気電子/経営工学/情報工学部会、化学/繊維/金属部会、建設部会、上下水道部会、農業/森林/水産部会、応用理学/資源工学部会、環境/衛生工学/生物工学/原子力・放射線部会)による技術士の研究・業績発表会を開催致します。

日頃、中国本部事務局のある広島市で開催される部会講演会に、地理的制約によりなかなか対面で参加して交流できなかった地元の部会員の皆様、奮ってご参加をお願いいたします。また、全8部会の発表の受講は、自身の専門知識を深めるだけでなく、知識の幅を広げる機会として有効です。

日本技術士会会員以外の学生、一般市民の方の参加も歓迎します。お誘いあわせの上、是非とも多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。なお、オンラインシステム(Teams)によるハイブリッド方式での開催を行います。

参加申し込みは、見学会、交流会、発表会の会場参加の方(会員・非会員の全員)、及び非会員でオンライン参加の方は、下記中国本部 URL から

<https://forms.gle/ow56mew45h3Uo65k7>

会員でオンライン参加の方は、下記統括本部 URL からお申込み下さい。なお、締め切りは11月22日(金)です。

<https://www.engineer.or.jp/kaiin/password/cpdevent/cpdeventlist.php>

敬具

— 記 —

- 1 開催日：2024年11月30日(土)～12月1日(日)
 - 2 開催場所：サンピーチ OKAYAMA (下図の地図参照)
(〒700-0023 岡山県岡山市北区駅前町 2-3-31 TEL 086-225-0631)
- 自動車利用：山陽自動車道岡山 IC⇒約 20分
 - JR 利用：岡山駅⇒徒歩 10分程度



3 プログラム

岡山例会（見学会・意見交換会）次第

(1) 日時:2024年11月30日(土) 13:00~20:00

(2) 場所:サンピーチ OKAYAMA (〒700-0023 岡山県岡山市北区駅前町 2-3-31 TEL 086-225-0631)

■見学会 : 参加費 3,000 円(当日徴収、後楽園、岡山城 入場料込み)
※CPD:2 時間 40 分(予定)、CPD 行事受講証は当日配布します。
定員:30 人程度(定員に達し次第締め切ります)

12:45 サンピーチ OKAYAMA 玄関に集合

13:00~13:20 バスで移動

13:20~14:20 百間川一の荒手見学(国土交通省岡山河川事務所 柏原副所長様による説明)

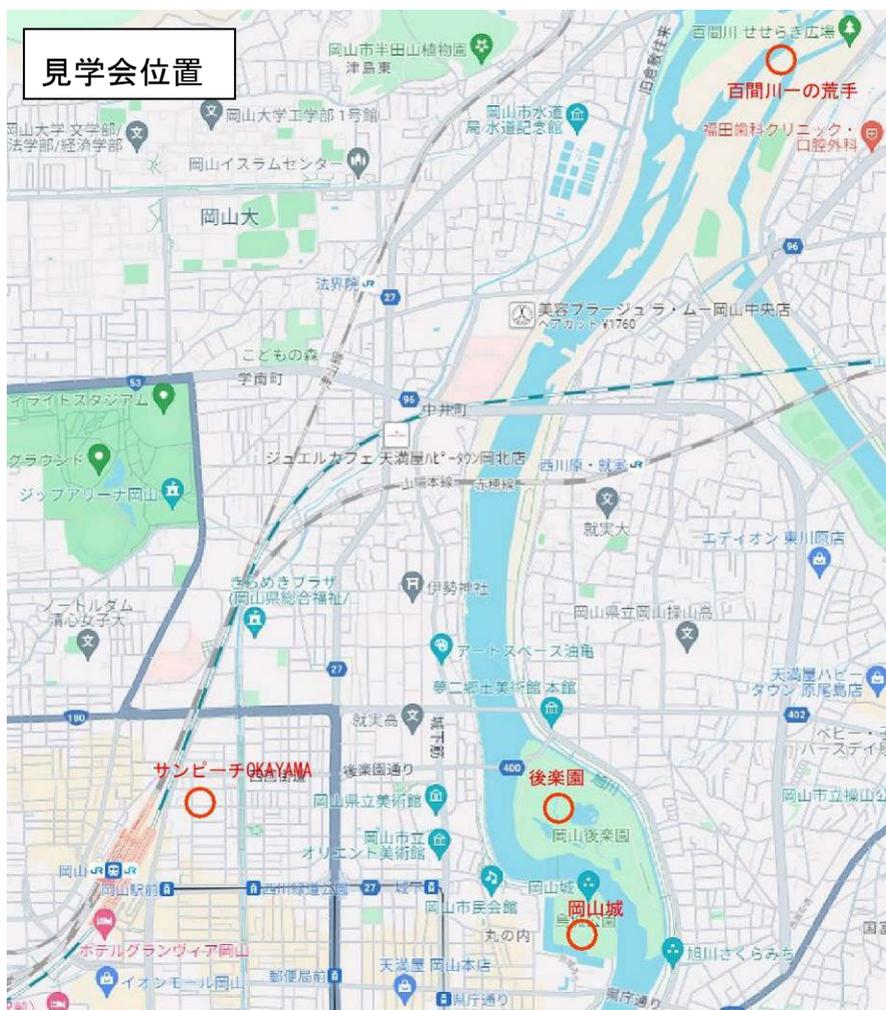
14:20~14:35 バスで移動

14:35~16:15 後楽園、岡山城見学

16:15~16:30 バスで移動、サンピーチ OKAYAMA

■意見交換会 : 参加費 6,000 円(当日徴収、2 時間飲み放題)

18:00~20:00 意見交換会 場所:サンピーチ OKAYAMA (3 階 ピーチホール)



岡山例会「第8回中国本部技術士研究・業績発表会」次第

- (1)日 時 2024年12月1日(日) 9:30~16:00
- (2)場 所 サンピーチ OKAYAMA(3階 ピーチホール)
〒700-0023 岡山県岡山市北区駅前町 2-3-31 TEL 086-225-0631
- (3)参加費 会場参加;(会員・非会員)無料
オンライン参加;(会員)500円・(非会員)1,000円(学生は無料)
※昼食(弁当):1000円(当日徴収、弁当の持ち込みはできません)
オンライン参加の支払いにつきまして、統括本部から申し込まれた会員の方は一括払いとし、中国本部 URL から申し込まれた非会員の方は、下記「ゆうちょ銀行口座」への振り込みをお願いします。
口座記号・番号:01330-0-6113/加入者名:公益社団法人日本技術士会中国本部
- (4)定 員 会場 80人、オンライン 100人
- (5)締 切 11月22日(金)
- (6)プログラム ※CPD:5時間40分(予定)。CPD 行事受講証は、会場参加の方は当日会場で配布します。オンライン参加の方で、統括本部 URL から申し込まれた会員の方は、各自会員専用マイページからダウンロードして下さい。中国本部 URL から申し込まれた非会員の方には後日メールでお送りします。
- 09:30~09:35 開催挨拶 公益社団法人日本技術士会 中国本部長 福田 直三
- 09:35~09:40 全体進行の説明
- 09:40~10:10 応用理学/資源工学部会
演題:「盛土規制法の動向と基礎調査事例」
講師:月元 崇寛 氏(応用理学)
- 10:10~10:40 上下水道部会
演題:「浄水場更新DB事業における格子状深層混合処理工法の採用」
講師:露無 誠 氏(上水道)
- 10:40~11:10 農業/森林/水産部会
演題「児島湖水生植物刈取船の更新について」
講師:川上 潤 氏(農業)
- 11:10~11:20 休 憩
- 11:20~11:50 環境/衛生工学/生物工学/原子力放射線部会
演題:「一般廃棄物広域処理による温室効果ガス削減の取り組み事例」
講師:井上 陽仁 氏(衛生工学)
- 11:50~12:20 電気電子/経営工学/情報工学部会
演題:「ひろしまIoT実践道場の活動」
講師:岡村 幸壽 氏(電気電子)
- 12:20~13:10 昼 食
- 13:10~14:10 基調講演
演題:「津山高専高度情報専門人材確保に向けた機能強化の構想:オンライン利活用による地域創成と未来展開型情報人材育成事業」
講師:津山工業高等専門学校校長 岩佐健司 氏
- 14:10~14:40 建設部会
演題:「美作市上山地区の12年一地域貢献による継続研鑽」
講師:阿部 典子 氏(建設)
- 14:40~14:50 休 憩
- 14:50~15:20 機械/船舶海洋/航空宇宙部会
演題:「印刷版製造プロセスの改善」
講師:赤松 雅夫 氏(機械)
- 15:20~15:50 化学/繊維/金属部会
演題:「自動車車体へのハイテン適用・開発状況と周辺技術」
講師:櫻井 理孝 氏(金属)
- 15:50~15:55 講評 理事・副本部長 乗安 直人
- 15:55~16:00 閉会挨拶 公益社団法人日本技術士会 岡山県支部長 川井 広一

(7) 発表概要

| 委員会部会 | 論文名 | 発表者 専門 | 専門 | 発表区分 |
|----------|---|----------------------|--------|---------|
| 応用理学 | 盛土規制法の動向と基礎調査事例 | 月元 崇寛 | 応用理学 | 地盤系 |
| 概要 | 静岡県熱海市の盛土崩落に伴う土砂災害では、多くの人命が失われた。この災害等を踏まえて施行された盛土規制法の動向を、実務の面から紹介する。また盛土規制法に伴う基礎調査に適用した地形解析技術について、事例を交えながら紹介し、今後適用を考えている技術や別業務への技術応用など展望を述べる。 | | | |
| 上下水 | 浄水場更新DB事業における格子状深層混合処理工法の採用 | 露無 誠 | 上下水道部門 | 地盤系 |
| 概要 | 浄水場更新事業（DB方式、計画浄水量53,000m ³ /日）の浄水処理棟建設にあたり基礎工法を検討した。支持層GL-40m（液状化層含む）に対し提案当初は杭基礎を想定していたが、協議調整の結果、格子状深層混合処理工法を選定した。また、同工法の耐震解析として、二次元地盤連成モデルによる非線形動的解析を実施した。 | | | |
| 農林水産 | 児島湖水生植物刈取船の更新について | 川上 潤 | 農業部門 | 環境系 |
| 概要 | 児島湾干拓地の農業用水確保、塩害・高潮被害軽減を目的に昭和36年に児島湾締切堤防が造成され、淡水である児島湖が誕生した。農業用水確保のための湖面管理を行う水生植物刈取船の更新にあたり、現状の問題点把握・課題解消・経済性比較等により更新船の仕様決定を行った事例を紹介する。 | | | |
| 休憩 | | | | |
| 環境 | 一般廃棄物広域処理による温室効果ガス削減の取り組み事例 | 井上 陽仁 | 衛生工学 | 環境系 |
| 概要 | 将来にわたり持続可能な適正処理を確保し、脱炭素化も推進していくため、現在及び将来の社会情勢等を踏まえた安定的かつ効率的な廃棄物処理体制の構築が求められている。その取組として広域処理及び高効率廃棄物発電を行う焼却施設（600t/日）を導入する上での課題と効果について紹介する。 | | | |
| 電気情報 | ひろしまIoT実践道場の活動 | 岡村 幸壽 | 電気情報部会 | 情報処理 |
| 概要 | 広島県及び公益財団法人ひろしま産業振興機構が主催した『ひろしまIoT実践道場』の座長を4年間務めた。支援先モニタ企業の様々な要求や思いをIoT導入により解決できないか、提案されたIoTがモニタ企業の要求や課題解決に適合しているのか、電機メーカーの相談役や地域有識者の意見、主催者の方針を調整して会の運営に努めた。 | | | |
| 休憩 | | | | |
| 基調講演 | 津山高専高度情報専門人材確保に向けた機能強化の構想：オンライン活用による地域創成と未来展開型情報人材育成事業 | 津山工業高等専門学校 岩佐健司 氏 | | 情報・人材育成 |
| 建設 | 美作市上山地区の12年一地域貢献による継続研鑽 | 阿部 典子 | 建設部門 | 地域づくり |
| 概要 | 美作市上山地区では、岡山県美作市上山地区は、かつては8300枚の棚田を有し、集落ならではのコミュニティや文化が受け継がれてきたが、昔の姿を失いつつあった。そんな中、美しい棚田の風景を取り戻そうと、住民と移住者が共に様々な取り組みをすすめている。上山から学び、支援につなげてきた12年間を振り返る。 | | | |
| 休憩 | | | | |
| 機械 | 印刷版製造プロセスの改善 | 赤松 雅夫 | 機械部門 | ものづくり |
| 概要 | 印刷版の量産化に向けて、水蒸気濃度下で進行する印刷版の感光層表面の耐アルカリ層形成プロセスに関する検討を行った。ここでは、印刷版保護紙の吸放湿特性に着目することにより、その形成度合を印刷版の温度推移で管理する手法を開発し、熱処理工程利用と併せて高品質な印刷版の製造方法として確立した事例を紹介する。 | | | |
| 化学/繊維/金属 | 自動車車体へのハイテン適用・開発状況と周辺技術 | 櫻井理孝 | 金属部門 | ものづくり |
| 概要 | 自動車の軽量化と衝突安全性を両立するため、ハイテン（高強度鋼板）が適用される。衝突安全基準の多様化・厳格化、環境規制強化が年々進む中、ハイテン使用比率の拡大と高強度化が求められてきた。カーボンニュートラルに伴うEV化が進展する中で、自動車車体へのハイテン適用・開発状況と周辺技術について報告する。 | | | |

岡山例会(見学会/意見交換会/第8回中国本部技術士研究・業績発表会)参加申込書

主催:公益社団法人 日本技術士会 中国本部

申込FAX番号:082-511-0309

※メール送信可能な方は、事務局の省力化のため、メールによる申込をお願いします。

岡山例会の 見学会に参加する。《参加費:3,000円》

意見交換会に参加する。《参加費:6,000円》

サピオOKAYAMAに宿泊する。《宿泊費:8,500円(朝食込み)※1》

技術士研究・業績発表会に参加する(会場参加:参加費無料)

技術士研究・業績発表会に参加する(オンライン参加)

《オンライン参加費:会員500円、非会員1000円》

技術士研究・業績発表会の昼食(弁当)を予約する。

《弁当代:1,000円》

※1:宿泊費は、1人部屋の利用金額。禁煙室。(宿泊者の駐車可。無料)

上記について参加するものを■(または☑)にしてください。

| | 氏名 | 資格(注1) | 区分(注2) |
|------------------------|---|---|--|
| 申込者 | | <input type="checkbox"/> 技術士 <input type="checkbox"/> 修習技術者 <input type="checkbox"/> その他 | <input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 |
| 技術部門 (注3) ※複数選択可 | <input type="checkbox"/> 機械 <input type="checkbox"/> 船舶・海洋 <input type="checkbox"/> 航空・宇宙 <input type="checkbox"/> 電気電子 <input type="checkbox"/> 化学 <input type="checkbox"/> 繊維 <input type="checkbox"/> 金属 <input type="checkbox"/> 資源工学 <input type="checkbox"/> 建設 <input type="checkbox"/> 上下水道 <input type="checkbox"/> 衛生工学 <input type="checkbox"/> 農業 <input type="checkbox"/> 森林 <input type="checkbox"/> 水産 <input type="checkbox"/> 経営工学 <input type="checkbox"/> 情報工学 <input type="checkbox"/> 応用理学 <input type="checkbox"/> 生物工学 <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 原子力・放射線 <input type="checkbox"/> 総合技術監理 | | |
| 勤務先 | | | |
| 連絡先 | E-mail | | <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> 自宅 |
| | FAX | | <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> 自宅 |
| | TEL | | <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> 自宅 |

注1) 資格は該当するものに■(または☑)を入れる。

注2) 区分で会員とは日本技術士会会員を指し、該当するものに■(または☑)を入れる。

注3) 技術部門は技術士か修習技術者のみ、該当するものに■(または☑)を入れる。

注4) 連絡先は(会社・自宅)のうち、該当するものに■(または☑)を入れ、E-mail等を記入。

注5) 同行者がいる場合は下記に記入。

注6) この個人情報、本行事の参加申込み以外には使用しません。

| | 氏名 | 資格(注1) | 区分(注2) |
|-----|----|---|--|
| 同行者 | | <input type="checkbox"/> 技術士 <input type="checkbox"/> 修習技術者 <input type="checkbox"/> その他 | <input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 |
| | | <input type="checkbox"/> 技術士 <input type="checkbox"/> 修習技術者 <input type="checkbox"/> その他 | <input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 |

問合せ先:〒730-0017 広島市中区鉄砲町1-20 第3ウエノヤビル6階

公益社団法人日本技術士会 中国本部

TEL:082-511-0305 FAX:082-511-0309 E-mail: ipej-hiro@rapid.ocn.ne.jp